



## 地域と共に育てる

校長 川村 和人

秋空がさわやかに感じる頃となりました。10月は近隣の保育園・幼稚園の運動会や地域のハロウィン祭り、長房ファームなど、地域の皆様に子どもたちが大満足となる貴重な体験をさせていただきました。そして、子どもたちに笑顔を生み出していただけたのは、やはり「地域の子どもたちを地域で育てよう」という思いからだと言いました。心より感謝申し上げます。

さて、2022年プロ野球を締めくくる日本シリーズも、手に汗握る好ゲームが繰り広げられ、劇的な展開で終了しました。昨年と連続して、ヤクルトスワローズとオリックス・バファローズが対戦し、オリックスが雪辱を果たし、26年ぶりに優勝しました。

私は、この時期になると、現在の野球界のデータと勝利への確率・効率に基づいた戦略的基盤を作ったレジェンドを思い出します。南海ホークス(現ソフトバンク)・ロッテ・西武・ヤクルト・阪神・楽天と、選手・監督であった野村克也さんです。故人となられてしまいましたが、小中学生時代野球少年だった私にとって、野村さんは、王さん・長嶋さんと並んであこがれの野球選手でした。

古い話で「月見草(つきみそう)」の逸話やぼやき、多くの著書等において、野村さんのプロ野球での功績以外にも様々なことを知ることができます。その中で私は、次のような言葉に感銘を受けています。

【長い監督生活で実践してきて常に心にとどめていたことは、「財を残すは下、仕事を残すは中、人を残すを上とす。」ということ。私の野球人生を振り返ってみると「人を残すのが一番」だった。少しは野球界に貢献できたかなと思う。】という言葉です。

「人を残す」とは学校・家庭・地域に限らず、あらゆる組織集団の中で課題だと言えるのではないのでしょうか。

学校における「人を残す」は、子どもたちを育てることもありますが、同時に「教員の育成」が重要となっています。そのために必要なのは、教職員一人一人の仕事に対する自覚です。教員は何よりも授業が命です。授業力と児童理解の向上に努めねばなりません。その目安をいただくのが保護者・地域の皆様からの声だと思えます。今年度も、学校アンケートによる評価をいただき、ありがとうございます。今後もアンケートを継続しますが、その際にはご協力をお願いいたします。

全教職員は日々の実践と様々な研修によって自覚と指導力を高めようと努めています。そして、本校では授業にしろ行事にしろ、先生方と主事さん方がそれぞれの立場で助言や協力をし合いながら、役割を自覚し果たすことで教育活動を行ってきました。アンケートやご連絡など、様々な声を改善の糧とするとともに、保護者・地域の皆様との一層の連携と関わりを深めたいと考えています。さらには、学校・家庭・地域のそれぞれの中で「人を残すかわり合い」を大切にしていけることが必要だと思えます。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ★令和4年度青少年健全育成キャンペーン入選作品★

#### 【優秀賞】

「おもしろい あかるいみらいを きりひらく」5年

「あいさつは 人の心を うごかすよ」6年

「助けよう 勇気は人を すくうかぎ」6年

#### 【佳作】

「てんびんに かたむきのない じんけんを」5年

「あいさつは 心に力を わけている」5年

「だいじょうぶ 君の居場所は ちゃんとある」6年

今年度も残念ながら、三校交流会は中止となりました。しかし、次年度以降は、青少対が主催となり、三校からの実行委員が主体となる実行委員会企画・運営・実施する形で継続することとなりました。また、八王子市の方針による長房地区の小中学校(長房小・船田小・長房中)の義務教育学校開校が近い将来にあることを踏まえ、三校の教職員の小中一貫教育、PTA・父母と先生の会等の組織づくり、学校運営協議会を中心とする地域との連携、等を進めてまいります。今後ご理解とご協力をお願いいたします。



## 地域と共に育てる

校長 川村 和人

秋空がさわやかに感じる頃となりました。10月は近隣の保育園・幼稚園の運動会や地域のハロウィン祭り、長房ファームなど、地域の皆様に子どもたちが大満足となる貴重な体験をさせていただきました。そして、子どもたちに笑顔を生み出していただけたのは、やはり「地域の子どもたちを地域で育てよう」という思いからだと言いました。心より感謝申し上げます。

さて、2022年プロ野球を締めくくる日本シリーズも、手に汗握る好ゲームが繰り広げられ、劇的な展開で終了しました。昨年と連続して、ヤクルトスワローズとオリックス・バファローズが対戦し、オリックスが雪辱を果たし、26年ぶりに優勝しました。

私は、この時期になると、現在の野球界のデータと勝利への確率・効率に基づいた戦略的基盤を作ったレジェンドを思い出します。南海ホークス(現ソフトバンク)・ロッテ・西武・ヤクルト・阪神・楽天と、選手・監督であった野村克也さんです。故人となられてしまいましたが、小中学生時代野球少年だった私にとって、野村さんは、王さん・長嶋さんと並んであこがれの野球選手でした。

古い話で「月見草(つきみそう)」の逸話やぼやき、多くの著書等において、野村さんのプロ野球での功績以外にも様々なことを知ることができます。その中で私は、次のような言葉に感銘を受けています。

【長い監督生活で実践してきて常に心にとどめていたことは、「財を残すは下、仕事を残すは中、人を残すを上とす。」ということ。私の野球人生を振り返ってみると「人を残すのが一番」だった。少しは野球界に貢献できたかなと思う。】という言葉です。

「人を残す」とは学校・家庭・地域に限らず、あらゆる組織集団の中で課題だと言えるのではないのでしょうか。

学校における「人を残す」は、子どもたちを育てることもありますが、同時に「教員の育成」が重要となっています。そのために必要なのは、教職員一人一人の仕事に対する自覚です。教員は何よりも授業が命です。授業力と児童理解の向上に努めねばなりません。その目安をいただくのが保護者・地域の皆様からの声だと思えます。今年度も、学校アンケートによる評価をいただき、ありがとうございます。今後もアンケートを継続しますが、その際にはご協力をお願いいたします。

全教職員は日々の実践と様々な研修によって自覚と指導力を高めようと努めています。そして、本校では授業にしろ行事にしろ、先生方と主事さん方がそれぞれの立場で助言や協力をし合いながら、役割を自覚し果たすことで教育活動を行ってきました。アンケートやご連絡など、様々な声を改善の糧とするとともに、保護者・地域の皆様との一層の連携と関わりを深めたいと考えています。さらには、学校・家庭・地域のそれぞれの中で「人を残すかわり合い」を大切にしていけることが必要だと思えます。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ★令和4年度青少年健全育成キャンペーン入選作品★

#### 【優秀賞】

「おもいやり あかるいみらいを きりひらく」5年

「あいさつは 人の心を うごかすよ」6年

「助けよう 勇気は人を すくうかぎ」6年

#### 【佳作】

「てんびんに かたむきのない じんけんを」5年

「あいさつは 心に力を わけている」5年

「だいじょうぶ 君の居場所は ちゃんとある」6年

今年度も残念ながら、三校交流会は中止となりました。しかし、次年度以降は、青少対が主催となり、三校からの実行委員が主体となる実行委員会が企画・運営・実施する形で継続することとなりました。また、八王子市の方針による長房地区の小中学校(長房小・船田小・長房中)の義務教育学校開校が近い将来にあることを踏まえ、三校の教職員の小中一貫教育、PTA・父母と先生の会等の組織づくり、学校運営協議会を中心とする地域との連携、等を進めてまいります。今後ご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年10月28日

ご来賓・地域の皆様

八王子市立長房小学校  
校長 川村 和人

## 作品展のご案内

紅葉の候、皆様には益々ご健勝のことと存じます。日頃は、本校の教育にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校では下記のとおり作品展を開催いたします。ご多用の折とは存じますが、ご来校の上、子どもたちの教育活動の成果をぜひご覧いただけますよう、ご案内申し上げます。

### 記

1. 日時 11月11日(金) 13:00~16:30 (最終受付 16:20)  
12日(土) 8:45~16:30 (最終受付 16:20)

※今年度の作品展で行われる造形遊びは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策により、保護者のみの参加となりました。ご来賓・地域の皆様は、作品展示をご鑑賞ください。

2. 会場 体育館・・・・・・・・・・児童作品  
北校舎昇降口1階・・・・・・・・父母と先生の会、地域の方々の作品

#### □ お願い

- \*ご来校の折には、体育館入口の受付にてご記入ください。
- \*お車での来校はご遠慮ください。  
(お車で来校される場合は、必ず学校までご連絡ください。)